

●環境教育・国際協力・環境教育（1） （1-I-14-1～1-I-15-1）

本セッションではアンケート調査分析に関する報告が1題、水環境指標に関する報告が3題、計4第の報告であった。

1-I-14-2 はアンケート調査結果を因子分析することにより、住民の潜在的な要望を明らかにしようとするものであり、その探求手法は素晴らしいものであった。

1-I-14-3 と 1-I-14-4 は水環境健全性指標を用いた調査結果を詳細に解析したものである。前者は地元住民と外部の調査者の評価結果を比べると、地元住民はより長い時間軸で評価を行っている傾向があるなど視点や時間軸の違いが明らかとなり興味深い内容であった。後者は調査結果から、今後へ向けて調査票の改良を試みたものである。調査項目の中には回答率が低いものがあるが、それは事前学習や資料を配布すること、設問を工夫することで改良を進めており、調査はこれからさらに活用されると思われる。

1-I-14-5 は公共用水域の調査結果の主成分分析と河川視察等の調査結果を併せて水環境指標を作成していくというものである。千葉県の地域特性を考慮した指標づくりに取り組んでおり、今後どのような成果が得られるのか、発展が期待されるものであった。

（宮城県・保健環境センター 赤崎 千香子）